

みんなでつくる あずましい 脱炭素のまち ふじさき

藤崎町地球温暖化対策実行計画概要版

令和8(2026)年度 — 令和12(2030)年度

■ 気候変動の影響

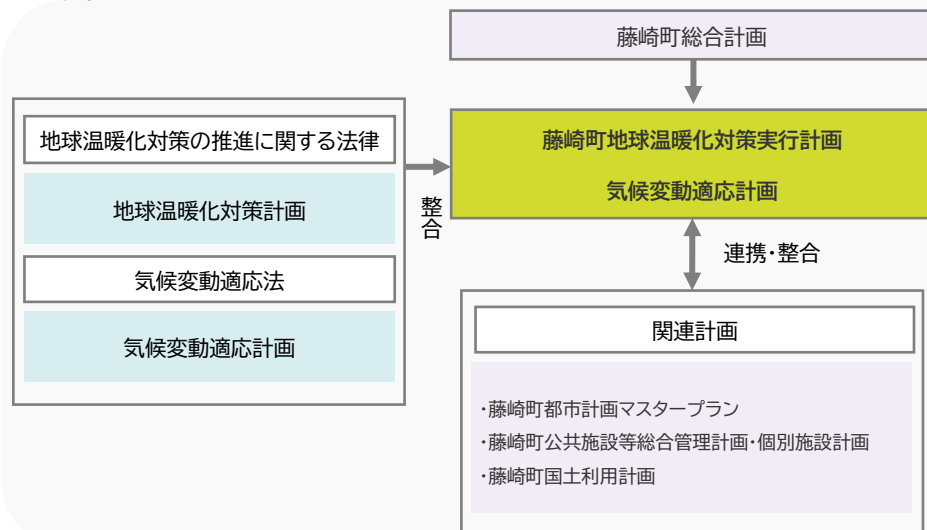
近年、地球温暖化に伴う影響は、極端な高温、大雨の頻度と強度の増加を拡大させ、洪水、干ばつ、暴風雨による被害も深刻化しています。
まさに人類は**深刻な環境危機に直面している**といえます。

本町においても温室効果ガスの排出量を削減する「緩和策」と、気候変動による悪影響を最小限に抑える「適応策」を両輪で推進し、これらの環境危機に対応する必要があります。



■ 本計画の位置づけ

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく「地方公共団体実行計画(区域施策編)」「地方公共団体実行計画(事務事業編)」、気候変動適応法第12条に基づく「地域気候変動適応計画」として策定するものであり、上位計画である「藤崎町総合計画」を地球温暖化対策の側面から補完します。



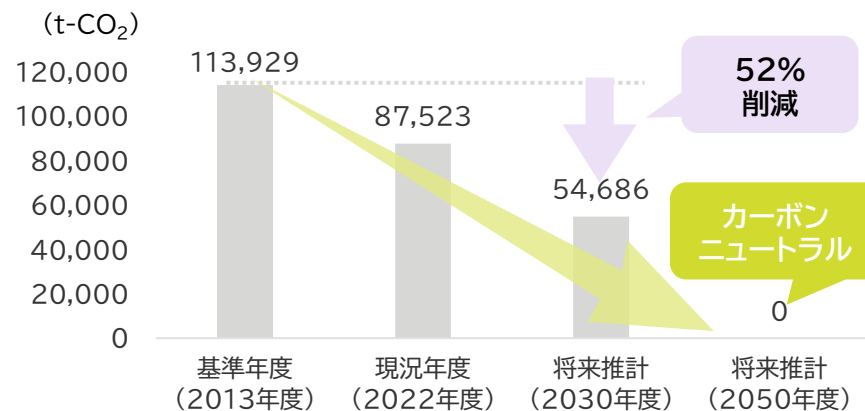
■ 将来像

地球環境にやさしい持続可能な町を次の世代に引き継ぐため、町、住民、事業者が連携し、取組を進めていくための将来像を、以下のとおり設定しました。

みんなでつくる あずましい 脱炭素のまち ふじさき

■ 二酸化炭素排出量削減目標

藤崎町は、
2050年度に**二酸化炭素排出量実質ゼロ(カーボンニュートラル)**の実現を目指します。



中期目標として、
二酸化炭素排出量を
2030年度までに2013年度比で
52%削減を目指します！

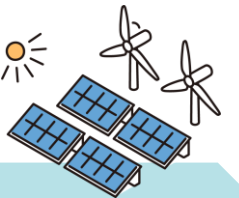


■ 再生可能エネルギー導入目標

町内におけるエネルギー需要を再生可能エネルギーで賄うことでエネルギーの地産地消による地域経済の活性化を目指すため、以下のとおり再生可能エネルギー導入目標を設定しました。

2030年度導入目標(電気):25,541MWh/年
2030年度導入目標(熱):187GJ/年

2050年度導入目標(電気):101,638MWh/年
2050年度導入目標(熱):935GJ/年



藤崎町地球温暖化対策実行計画概要版 令和8(2026)年4月

藤崎町 住民課 環境係

目標達成に向けた施策



①省エネルギー対策の推進

(1)暮らしにおける省エネルギー対策

省エネ住宅の普及啓発及び補助制度の検討/省エネ設備・機器の導入促進及び補助制度の検討/エネルギー消費量の見える化の促進/脱炭素型ライフスタイルへの移行



(2)事業活動における省エネルギー対策

建築物の省エネ促進及び補助制度の検討/建築物におけるZEBの検討/省エネ設備・機器の導入促進及び補助制度の検討/エネルギー消費量の見える化の促進/スマート農業の推進



(3)地域における省エネルギー対策

省エネ設備の導入/次世代自動車の導入検討/持続可能な移動手段の促進



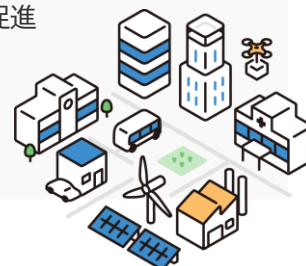
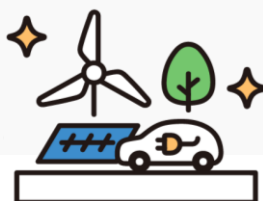
②再生可能エネルギーの普及拡大

(1)公共施設等への率先的な再生可能エネルギー導入

太陽光発電設備・蓄電池等の導入拡大/再生可能エネルギーの地産地消/バイオマス利用の拡大/再生可能エネルギー由来電力の導入

(2)町内への再生可能エネルギー導入・活用推進

太陽光発電設備・蓄電池・太陽熱設備の普及啓発及び導入検討/融雪システムの導入検討/バイオマス燃料の導入促進/再生可能エネルギー由来電力への切替促進



③総合的な地球温暖化対策



(1)吸収源対策

農地における土壌吸収源対策の促進/低炭素農業の実践と農作物の販売/緑地の整備

(2)ごみの減量化・資源化の促進

家庭ごみ・事業ごみの削減/資源の有効活用促進/生分解性プラスチックやバイオマスの導入/食品ロス削減の推進/コンポスト化の推進

(3)基礎的施策の推進

環境学習機会の提供/環境に関する情報発信/他主体との連携

(4)気候変動への適応

農業の対策/自然生態系分野の対策/自然災害・沿岸域分野の対策/健康への影響対策/国民生活・都市生活分野の対策



《できることから始めよう！チェックリスト》

住民編		アクション内容	CO ₂ 排出削減効果
① 省エネ	☐	テレビを見る時間を1時間短縮する	0.02 kg-CO ₂ /日
	☐	シャワーに使用する水をこまめに止める	0.10 kg-CO ₂ /回
	☐	便座の設定温度を1段階低くして使用する	0.10 kg-CO ₂ /日
	☐	エアコンを使用する時間を1時間短縮する	0.40 kg-CO ₂ /日
	☐	宅配便を1回目の配送で受け取る	0.20 kg-CO ₂ /回
	☐	徒歩で移動する	1.20 kg-CO ₂ /km
	☐	洗濯物を自然乾燥する	1.10 kg-CO ₂ /回
	☐	自宅に太陽光設備設置・調理器をIHにする	1,350 kg-CO ₂ /年
② 再エネ	☐	自宅の電力を再エネにする	1,230 kg-CO ₂ /年
	☐	自宅に太陽熱温水器を導入する	120 kg-CO ₂ /年
	☐	マイカーを電気自動車にする(再エネ充電)	470 kg-CO ₂ /年
	☐	電子書籍を購入して読む	0.60 kg-CO ₂ /冊
③ 総合	☐	詰め替え洗剤を購入して使用する	0.30 kg-CO ₂ /回
	☐	使用済み食品トレイを資源ごみとしてリサイクルに出す	0.01 kg-CO ₂ /個
	☐	再利用可能な買い物袋(マイバッグ)を使用する	0.02 kg-CO ₂ /回
	☐	ペットボトルをリサイクルに出す	0.10 kg-CO ₂ /回
	☐	賞味期限が近い食材を購入して食べる	0.01 kg-CO ₂ /日
	☐	食べ残しをしない	0.01 kg-CO ₂ /日
	☐	出張時は宿泊者情報をインターネット上で登録できる宿泊施設を利用する	0.20 kg-CO ₂ /泊

事業者編

事業者編		アクション内容	CO ₂ 排出削減効果
① 省エネ	☐	オフィスで複合機のスリープモードを設定して使用する	0.40 kg-CO ₂ /日
	☐	オフィスにおいて照明を使う時間を短縮する	0.10 kg-CO ₂ /日
	☐	オフィスでクールビズを実施する	0.30 kg-CO ₂ /日
	☐	エコドライブを実施する	0.30 kg-CO ₂ /回
	☐	労働時間内で業務を完了し退社する	0.10 kg-CO ₂ /日
	☐	エネルギー利用最適化診断等を受診する	事業規模による 省エネ診断や 再エネ提案を活用して 削減効果を チェックしてみよう！
② 再エネ	☐	太陽光発電設備を導入する	
	☐	電気契約を再エネ由来電力メニューにする	
	☐	再エネ電力証書を購入する	
③ 総合	☐	紙を両面印刷する	0.01 kg-CO ₂ /部
	☐	4ページを1枚にまとめて印刷する	0.03 kg-CO ₂ /部
	☐	電子契約を実施する	0.04 kg-CO ₂ /回
	☐	リサイクルするためにごみを分別する	0.50 kg-CO ₂ /日
	☐	再利用可能な水筒(マイボトル)を利用する	0.10 kg-CO ₂ /回
	☐	出張時は宿泊者情報をインターネット上で登録できる宿泊施設を利用する	0.20 kg-CO ₂ /泊
	☐	出張時は宿泊者情報をインターネット上で登録できる宿泊施設を利用する	0.20 kg-CO ₂ /泊

出典:環境省デコ活データベース及び国立環境研究所カーボンフットプリントと削減効果データブック